

【経営戦略】 前回の主な質問事項

	ページ		内容	回答
	旧	新		
1	7, 8	7, 8	<p>「刈谷市水道事業」を通して、「刈谷市水道事業に委託して」の違いがわかりません。前者は「刈谷市水道事業」が委託している民間業者に下水道使用の開始等を下水道事業単独で委託しているのでしょうか。二つまとめたい方が委託費が安いように思います。後者はお客様サービスを水道事業に委託し水道事業独自にサービスをしていることでよいのでしょうか。ちなみに委託費用はどの程度で、下水道課独自に実施するのに比べて年間どの程度節約になっているのでしょうか。</p>	<p>P7、P8の内容とも同様に、同種の業務を民間業者に委託している刈谷市水道事業に委託しています。 P7では収納事務を「専門の民間業者」が行うことにより収納率が向上した旨を強調するため、「民間業者」という語句を記載したことから異なる記載としていましたが、ご質問のとおり別の委託ととられる可能性もあるため、P7、P8それぞれ文言を修正しました。 なお、本委託費の令和3年度実績は約7,000万円（税抜）です。 本委託は下水道事業の当初から水道事業に委託しているため、下水道独自に実施した場合と比べてどの程度節約になるかはわかりません。</p>
2	9	9	<p>電算処理の開発費はいくらで、何年で回収できるのでしょうか。毎年は安くなっても初期投資が回収できないのであれば非効率です。</p>	<p>公金収納電算処理を委託から直営に切り替えた際のシステム改修費は約70万円で、年間の委託料を約160万円削減できましたので、1年で回収できています。</p>
3	11	11	<p>レーダーチャートが、下水道接続率が30%に見えてしまうなど、表していることが分かりにくい。 説明をレーダーチャートの前に持ってくるなど、目立たせた方がよいのではないかと。</p>	<p>レーダーチャートは偏差値で表示しているため、各項目に単位が表示されていたことは誤りでしたので、各項目の単位は削除しました。 また、説明内容を修正するとともに、レーダーチャートの前に記載するようにしました。</p>

【経営戦略】 前回の主な質問事項

	ページ		内容	回答
	旧	新		
4	11, 14	11, 14	数式がないため、このままでは、11ページでは値が高いことが良くなり、14ページでは比率が低いほうが良くなるのがなぜかわかりません。	P12以降の各指標値は、比率が高いほど良い状態ものと、低いほど良い状態のものが混在しています。 一方P11、P17のレーダーチャートは各指標値を比率が高いほど状態が良いものであっても、低いほど状態が良いものであっても、状態が良いものがチャートでは外側になるように偏差値に置き換えています。偏差値の算出については、国が公表している経営比較分析表が類似団体平均との比較を掲載していることから、類似団体平均を基準として設定し、「(比較団体の指標値-類似団体平均の指標値)÷標準偏差×10+50」で算出しています。(管きょ老朽化率などの指標値が低いほど状態が良いものは100からこの算出値を除いて算出) これらの数式を掲載した場合、一般的には少し難解と思われる標準偏差の説明が必要になるとと思われるため、偏差値に置き換えることで状態の良いものは外側に、悪いものは内側に表示するという趣旨の説明にとどめることとします。 なお、レーダーチャートに単位が表示されていたことは誤りでしたので削除しました。そのため類似団体平均は「50%」ではなく偏差値が「50」となります。
5	11, 17	11, 17	市民の方には、統計処理に詳しい方もいると思いますので、12ページ以降の数値を用いて、どのように算出したかの数式を加えてはいかがでしょうか。「類似団体平均を偏差値50として」は正しい表現でしょうか。単に「類似団体平均を50%とし」のようにも思います。また、管きょ老朽化率の計算方法は他と異なるようですので、そのことに言及してはいかがでしょうか。	
6	21	21	本市を含め特に西三河地域は下水道使用料が安い傾向にあるとなっておりますが、ここにその理由と思われることを記載しておいた方がいいのでは。	西三河地域の下水道使用料が安い傾向にあることは他との比較でわかりますが、理由については不明であり、記載するとしてもあくまで憶測でしか記載できないため、記載は控えます。
7	24	24	前項までの分析を細かく見なくともひと目でわかるような表現が良いのでは。 項目別にサブタイトル化や、フォントの変化など。 文章の中に重要な課題がさらさらと書き込まれているので、他のパターンもあるのではないかと思います。	P24は前ページまでの分析結果と課題を文章でまとめていたため、ひと目でわかる形式にはなっていなかったと思います。 ひと目でわかる表現はなかなか難しいですが、「投資」、「財政」それぞれの文章を「現在の状況」と「主な課題」で分け、指標名には『』を付けることにより、重要な内容が文章の中にできるだけ埋没しないように修正しました。

【経営戦略】 前回の主な質問事項

	ページ		内容	回答
	旧	新		
8	26	26	<p>水道事業における有収水量減少の主な要因は、工業用の用途の減少によるものであったと記憶しています。一人当たりの有収水量が減じて総有収水量が減るのではないため、「しかし、次期以降計画期間では～」以降の文言修正が必要かと思えます。</p>	<p>ここでの「一人当たり有収水量」の算出方法は工業用途も含めた「総有収水量」÷「下水道接続人口」としており、減少する有収水量が工業用途であっても「一人当たり有収水量」は減少します。しかし、下水の有収水量の増減要因は、新規整備による接続人口の増加や、大規模事業場の新規接続、井戸水などでも下水に流入する分があることなどにより水道事業とは同じにはならないと考えています。一方、節水意識の高まり等による水道の有収水量の減少見込を下水分に反映させるため、水道事業で推計した有収水量の減少分に、井戸水利用などによる減少分を補正したものを下水分の「1人当たり有収水量の減少率」として換算し、これを用いて下水の有収水量の減少分を推計しています。</p> <p>この一人当たり有収水量の減少による減少分が、将来的には接続人口の増加などによる有収水量の増加分より大きくなることから有収水量が減少する見通しとなるため、説明を修正しました。</p>
9	34	34	<p>補てん財源がマイナスになるのは、読んでいてしっくりきません。タイトルが「補てん財源(残額)ですから、赤色の補てん財源は累計、青色の補てん財源は単年度のようです。どちらも(残額=累計)でよいのでしょうか。何か良い表現方法はないのでしょうか。</p>	<p>青色の基準外繰入金がある場合の補てん財源(残額)も、赤色の基準外繰入金がない場合の補てん財源(残額)も累計表示になります。青色の方は補てん財源の残額が一定となるように毎年度基準外繰入金を繰入れる想定となっているため、累計でも補てん財源が不足する期間は残額が一定となります。</p> <p>一方、赤色の方は基準外繰入金がない想定であるため、毎年度補てん財源の不足分が積みあがるという本来はありえない状態を表示しているため違和感もあるかと思いますが、ここでは基準外繰入金がない場合の状態を強調するため、仮に基準外繰入金がH29からなかったら収益的収支はどのような状態になるかをP33で、資本的収支はどのような状態になるかをP34で表示しています。</p>